

令和 8 年度（2026 年度）（第 1 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・社会人特別選抜）

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 5 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚。
- 3 設問 I、設問 II … の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

設問 I

以下の文章を読み、問 1、2 に答えなさい。なお、解答は解答紙の 1 枚目に記し、合わせて 1 枚の分量程度とすること。ただし 1 枚を超えてはならない。

問 1 「親の言うことは聞くな」と著者が述べている理由を文章中から読み取り説明しなさい。

問 2 「親の言うことは聞くな」という著者の主張に対して、賛成と反対のそれぞれの立場から、あなたの体験と専門性を踏まえてあなたの考えを論じなさい。

〈ここに下記文献が入ります。〉

孫 泰蔵『冒険の書 AI 時代のアンラーニング』（株式会社日経 BP、2023 年、第 5 章学びほぐそう：「親の言うことは聞くな」 pp. 273-276）

出典：孫 泰蔵『冒険の書 AI時代のアンラーニング』（株式会社日経BP、2023年、第5章
学びほぐそう：「親の言うことは聞くな」pp.273-276）所収。一部改変。

設問Ⅱ 以下の問いに答えなさい。なお、解答は解答紙の2枚目に記し、合わせて1枚の分量程度にすること。ただし1枚を超えてはならない。

問1 資料1、資料2から読み取れることを論じなさい。

問2 資料2、資料3を比較し、問1で読み取った内容もふまえ、特別支援学校高等部出身者の進路の特徴とその背景についてあなたの考えを述べなさい。

出典:

(資料1,2) : 文部科学省「特別支援教育資料(令和5年度)」
(https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_tokubetu02-000026303_2.pdf)より作成。

(資料3) : 文部科学省「令和5年度学校基本調査」(https://www.mext.go.jp/content/20230823-mxt_chousa01-000031377_001.pdf)より一部改変して作成。

資料1 特別支援学校中等部および中学校特別支援学級卒業後の状況(国・公・私立計)

区分	卒業者 人	進学者 人	教育訓練機関等 人	就職者等		社会福祉施設等 入所・通所者 人	その他 人
				人	うち臨時労働者 人		
計	9,836 (100.0%)	9,670 (98.3%)	17 (0.2%)	5 (0.05%)	— (0.00%)	55 (0.6%)	89 (0.9%)
視覚障害	165 (100.0%)	163 (98.8%)	1	—	—	— (0.0%)	1
聴覚障害	356 (100.0%)	355 (99.7%)	—	— (—)	—	— (—)	1
知的障害	7,491 (100.0%)	7,385 (98.6%)	9 (0.12%)	4 (0.05%)	— (—)	36 (0.5%)	57 (0.8%)
肢体不自由	1,536 (100.0%)	1,505 (98.0%)	—	—	—	16 (1.0%)	15 (1.0%)
病弱・身体虚弱	288 (100.0%)	262 (91.0%)	7 (2.4%)	1	—	3 (1.0%)	15 (5.2%)
中学校特別支援学級計	26,960 (100.0%)	25,561 (94.8%)	466 (1.7%)	187 (0.7%)	—	746 (2.8%)	—

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

※進学者は、高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の本科・別科、高等専門学校へ進学した者の計。

※教育訓練機関等は、専修学校(高等課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者の計。

※就職者等は、自営業主等、常用労働者(無期雇用労働者、有期雇用労働者)、臨時労働者の計。

※社会福祉施設等入所・通所者は、児童福祉施設、障害者支援施設等及び医療機関の計。

※その他は、家事手伝いをしている者、外国の学校に入学した者、進路が未定であることが明らかな者及び不詳・死亡の者等の計。

なお、中学校特別支援学級卒業者のその他は、社会福祉施設等入所・通所者を含む。

※上段は人数、下段は卒業者に対する割合。四捨五入のため、各区分の比率の計は必ずしも100%にならない。

※中学校は義務教育学校後期課程を含める。中等教育学校の特別支援学級はない。

資料2 特別支援学校高等部(本科)卒業後の状況(国・公・私立計)

区分	卒業者 人	進学者 人	教育訓練機関等 人	就職者等		社会福祉施設等 入所・通所者 人	その他 人
				人	うち臨時労働者 人		
計	21,846 (100.0%)	405 (1.9%)	344 (1.6%)	6,650 (30.4%)	55 (0.3%)	13,447 (61.6%)	945 (4.3%)
視覚障害	286 (100.0%)	96 (33.6%)	16 (5.6%)	23 (8.0%)	— (—)	128 (44.8%)	23 (8.0%)
聴覚障害	440 (100.0%)	182 (41.4%)	21 (4.8%)	140 (31.8%)	1 (0.2%)	79 (18.0%)	17 (3.9%)
知的障害	18,992 (100.0%)	67 (0.4%)	257 (1.4%)	6,339 (33.4%)	53 (0.3%)	11,538 (60.8%)	738 (3.9%)
肢体不自由	1,744 (100.0%)	37 (2.1%)	26 (1.5%)	83 (4.8%)	1 (0.1%)	1,472 (84.4%)	125 (7.2%)
病弱・身体虚弱	384 (100.0%)	23 (6.0%)	24 (6.3%)	65 (16.9%)	— (—)	230 (59.9%)	42 (10.9%)

出典：「学校基本調査」(文部科学省)

※進学者は、大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学(全科履修生)、大学・短期大学(別科)、

高等学校(専攻科)及び特別支援学校高等部(専攻科)へ進学した者の計。

※教育訓練機関等は、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者の計。

※就職者等は、自営業主等、常用労働者(無期雇用労働者、有期雇用労働者)、臨時労働者の計。

※社会福祉施設等入所・通所者は、児童福祉施設、障害者支援施設等及び医療機関の計。

※その他は、家事手伝いをしている者、外国の学校に入学した者、進路が未定であることが明らかな者及び不詳・死亡の者等の計。

※上段は人数、下段は卒業者に対する割合。四捨五入のため、各区分の比率の計は必ずしも100%にならない。

令和 8 年度（2026 年度）（第 1 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜）

臨床心理学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚（表紙を除く）、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと（設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること）。

……………臨床心理学コース……………

【設問Ⅰ】 統合失調症の①症状や好発年齢、②診断、③治療について述べた上で、統合失調症患者の④心理社会的支援において心理職が果たすべき役割について述べなさい。 (20点)

【設問Ⅱ】 認知行動療法におけるエクスポージャー法の理論的背景と、方法のバリエーションを説明し、その効果と限界について述べなさい。 (20点)

【設問Ⅲ】 心理検査の結果をフィードバックする際の留意点について、3つ挙げて述べなさい。 (20点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。 (各5点)

(1) 任意入院

(2) 場面緘黙

(3) アイデンティティ・ステイタス

(4) 認知的不協和

(5) 事例研究法

(6) リフレーミング

(7) P-F スタディ

(8) 参加者内要因

(以下余白)